

少子化のポイント： 実態と対策

2014年2月24日(月)

白波瀬佐和子

(東京大学大学院人文社会系研究科)

少子化とは？

- 少子化：
 - 合計特殊出生率(以降、出生率)が人口置換水準(死亡率を一定にし、現在の人口規模を維持するだけの出生率:2.07)に達しない状況が継続すること。
 - 1970年代半ば以降、日本は少子化状態。
- 少子化のメカニズム：
 - 生涯に生む子ども数の減少(カンタム効果)と出産タイミングの遅れ(テンポ効果/タイミング効果)
 - 婚姻率(結婚行動)の低下と夫婦出生率(出産行動)の低下

結婚/出産タイミングの遅れ
晩婚化・未婚化

少子化

子ども数の減少
夫婦の出生率低下

高学歴化
キャリア形成
若年労働市場の
変化
結婚の機会費用
家族規範

就労支援(職業訓練)
キャリア支援

子育て支援
働き方の見直し
男女共のワークライフバランス

子どもの福祉
教育機会の保証

長時間労働
子育てコスト
性別役割規範

【諸政策の組み合わせ】
優先順位の設定と全体バランス
短期的・中長期的到達目標の明示化と検証

少子化への対策を講じる際の3つの側面

I. 未婚化・晩婚化

- 複線型キャリア形成の支援
- 固定的性別規範からの脱却
- 働き方の見直し

II. 子どものいる世帯といない世帯の再分配

- 子育て支援
- ワークライフバランス (earner-carer model)

III. 子どもの福祉

- 教育機会の確保
- 投資としての教育
- 再チャレンジの積極的導入

選択的(target型)・普遍的(universal型)福祉の構築

同世代の再分配(連帯)

- 男女間、男性内・女性内
- 子どものいる世帯内
- 若年層内
- 子ども層内

異世代間の再分配(連帯)